



2023年2月10日

各位

上場会社名 京極運輸商事株式会社  
 代表者 代表取締役社長 坂井 文明  
 (コード番号 9073)  
 問合せ先責任者 常務取締役 羽入田 清隆  
 (TEL 03-5825-7143)

## 業績予想の修正および配当予想の据え置きに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1.業績予想の修正について

(1)2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,699	135	160	105	34.39
今回修正予想(B)	8,672	0	70	40	13.10
増減額(B-A)	△27	△135	△90	△65	
増減率(%)	△0.3	△100.0	△56.3	△61.9	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	8,970	151	204	153	50.11

(2)2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,291	118	135	92	30.09
今回修正予想(B)	6,279	44	87	61	19.98
増減額(B-A)	△12	△74	△48	△31	
増減率(%)	△0.2	△62.7	△35.6	△33.7	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	6,245	87	117	96	31.46

修正理由

下期に入り前回発表予想(5月)と比較し、経済環境が大きく変化しました。足元の1月から3月にかけて改善努力を行っていますが追いつかず、前回発表予想に対して大幅な減収・減益となる見込みです。詳細につきましては、以下(3)連結実績・予想差異を合わせてご参照ください。

(3)連結実績・予想差異

2022年4月～2022年9月 連結実績数値

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰 属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
当期実績(A)	4,327	75	105	72
前期実績(B)	4,327	55	80	68
増減額(A-B)	0	20	25	4

2022年10月～2022年12月 連結実績数値

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期実績(A)	百万円 2,232	百万円 △60	百万円 △17	百万円 △10
前期実績(B)	2,312	55	84	57
増減額(A-B)	△80	△115	△101	△67

2023年1月～2023年3月 連結予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期予想(A)	百万円 2,113	百万円 △15	百万円 △18	百万円 △22
前期実績(B)	2,331	41	40	28
増減額(A-B)	△218	△56	△58	△50

2022年4月～2023年3月 連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期予想(A)	百万円 8,672	百万円 0	百万円 70	百万円 40
前期実績(B)	8,970	151	204	153
増減額(A-B)	△298	△151	△134	△113

上期においては、貨物自動車運送事業における輸送数量の増加、石油・ドラム缶販売等事業における販売単価の上昇もあり、好調に推移し増益となりました。

下期に入ると一転、貨物自動車運送事業においては、ロシア・ウクライナ紛争や中国のゼロコロナ政策の影響により自動車用部品、化学品原料の貿易量が減少し、さらに国内石油需要の減退もあり、大幅な減益となりました。

1月から3月にかけても輸送量は改善せず、またタンク洗滌・修理事業部門においては、工事需要の減少と競争入札による失注により大幅な減益が見込まれます。

したがって、2023年3月期予想は前期実績を大きく下回る見込みです。

## 2. 配当予想の据え置きについて

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月13日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回予想	—	0.00	—	10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2022年3月期)	—	0.00	—	12.00	12.00

当社の利益配分に関する基本方針は、将来の事業展望と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことにあります。今期は大幅な減益予想になっておりますが、1株当たりの年間配当予想については、変更いたしません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上